

ひまわり幼稚園 令和5年度 重点目標並びに自己評価表

(計画段階 ・ **実施段階**)

幼稚園運営計画				評価(3月)		
運営方針	新しい時代をのびやかに生き、グローバルに活躍できる人間形成の基礎を培う。				B	
昨年度の成果と課題	本年度重点目標	具体的目標				
昨年度は行事をクラス毎や学年別に分散して行い、保護者に成長した姿見てもらうことができた。今年度はコロナ5類移行に伴い、従来の行事の実施や新しい取り組みを行い、園全体の活気を取り戻す。	何にでも興味を持ち挑戦する「逞しい」子どもを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心、やる気、集中力、学ぶ力を養う。 ・たくさん褒め、たくさん認め、挑戦する楽しさを感じ、自信をもたせる。 				
	誰とでも笑顔で接し会話ができる「明るい」子どもを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと視線（目の高さ）を合わせ教師から積極的に声掛けをする。 ・挨拶・返事をきちんとさせる。 				
	あらゆる人を思いやる素直で「優しい」子どもを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の“ありがとう”のシャワー（言葉かけ）をたくさんかける。 ・友だちの良い所を認め、仲良くする。 				
	中・長期的な教育内容の「PDCA」を計画的に実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCA(Plan計画・Do実行・Check評価、Action改善)を明確にし、一人一人の子どもの成長に必要な保育が見えてくる。 ・継続をする事で“生きる力”へとつなげる。 				
	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題	
健康・安全の指導	健全な心と身体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教師は幼児との信頼関係を築き、幼児が安定した情緒のもとで行動できるようにする。 ・十分に身体を動かして遊ぶ中で、危険な場所、物事、状況を理解し、どうしたら良いか体験を通して学ぶ。 	A	B	B	固定遊具の安全点検を徹底する。園内での過ごし方（雨天時など）や環境設定を季節や行事に合わせて目と耳から体感し、四季を感じられる保育を取り入れる。また、園庭の植物や生き物、園児の身の回りにある様々な事柄に興味を持ち、自分で調べたり、聞いたりできる環境設定にした
	充実した活動ができる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自発的に活動できるようにクラス環境を整え、園内、屋外の安全点検は徹底して行う。 ・身近な事象に好奇心や探求心をもち、生活に取り入れていく。 	B	B		
社会性・人間関係の育成	基本的生活習慣の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・「はやね」「はやおき」「朝ごはん」と時間を守る。 ・食事・睡眠・排泄・衣服の着脱や整理整頓など生きていくために必要な習慣をつける。 	B	B	B	教師が見本となるよう「時を守り、場を清め、礼を正す」を実践する。人間関係構築に必要なコミュニケーション能力を高められる関わりを集団生活の中で学べるよう必要に応じて声掛けをする。活動を楽しむ中で達成感や友だちや教師との一体感を自信へと繋げる。睡眠の大切さを保護者にも伝えたり、月1回、縦割りの活動での大掃除も引き続き実施する。
	望ましい人間関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達との関わりの中で、思いを伝えあったり試行錯誤したりしながら関係を深める。 ・様々な活動を楽しむ中で「自立心」「達成感」を味わって自信をつける。 	C	C		
ことば感覚・表現力の育成	正しいことば感覚の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で伝えることの大切さや必要性を気付かせながら友達との活動へとつなげる。 ・教師が手本となり、挨拶や言葉使いを正しく教えていく。 	C	B	B	挨拶・正しい言葉遣いは教師が見本となり実践はできていたが、相手を思いやることに欠ける点があった。自分が言われて不快感を抱く言葉や適正ではない言葉に対してはその時現場で伝える大切さも指導していきたい。また園生活の中で自分の想いを伝えられるよう雰囲気作りや声掛けを行う
	感性豊かな表現力の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・心揺れ動く体験をするには教師と感動を共有し、子どもたちの言葉やつぶやきに共感する。 ・美しい物や様々な場面で心を動かす体験を通してイメージを豊かにして表現する楽しさを培う。 	B	B		
その他	小学校教育への円滑な接続	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育において健康な心と体、自立心、協同性、道徳性、数、文字、自然、言葉、感性、表現などを見据えて小学校との接続を見通して保育する。 	B	B	B	レスポンスが遅かったり他業務に追われたり、広報活動の実践が思うように出来なかった。あそびにおいてのR6年度は実施回数を月2回に増やし、年間参加人数100名を目標とする。また子育て支援事業も園内で実施し、園児目標100名を目指す。
	幅広い広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやインスタグラムで園の様子を発信する。 ・“あそびにおいで”を計画的に開催し園児募集をする。 	A	A		
			B			